

# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

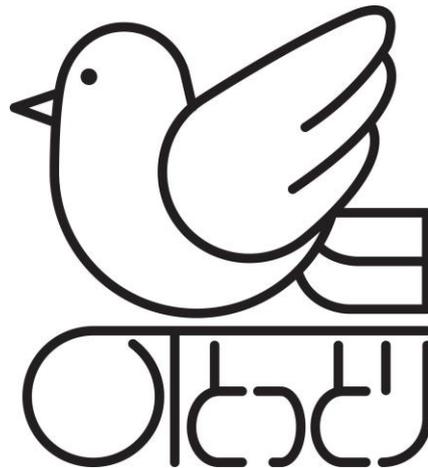
平成 27 年度 定時社員総会

## 議 案 書

期日：平成 27 年 5 月 17 日（日） 13：00～14：00

会場：鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム 3

（倉吉市駄経寺町 212-5 TEL 0858-23-5390）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事 務 局

〒683-0841 鳥取県米子市上後藤 3-5-1

養和病院リハビリテーション課内

TEL 0859-29-5351

FAX 0859-29-7179

## 総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議長選出
3. 会長挨拶
4. 定足数報告
5. 書記任命
6. 決議事項
  - 第1号議案 平成26年度事業報告書承認の件
  - 第2号議案 平成26年度決算報告書承認及び監査報告の件
  - 第3号議案 役員選任の件
  - 第4号議案 その他
7. 報告事項 平成27年度事業計画及び予算
8. その他
7. 議長解任
8. 閉会のことば

### 目 次

総会次第	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
決議事項	第1号議案 平成26年度事業報告承認の件	2
	事務局	2
	渉外部	3
	広報部	3
	事業部	5
	学術部	9
	教育部	9
	領域対策部	11
	財務部	11
	規約委員会	11
	倫理委員会	11
	総会議事運営委員会	12
	地域包括ケアシステム対策委員会	12
	認知症対策委員会	12
	その他	12
	第2号議案 平成26年度決算報告書承認及び監査報告の件	13
	財産目録	13
	貸借対照表	13
	収支計算書	14
	正味財産増減計算書	19
	監査報告書	20
	第3号議案 役員選任の件	21
	第4号議案 その他	21
報告事項	平成27年度事業計画及び予算	
	事務局	22
	渉外部	22
	広報部	23
	事業部	23
	学術部	24
	教育部	24
	領域対策部	25
	財務部	25
	規約委員会	26
	倫理委員会	26
	総会議事運営委員会	26
	生活行為向上マネジメント委員会	27
	地域包括ケアシステム対策委員会	27
	認知症対策委員会	28
	予算書	29

第1号議案 平成26年度 事業報告書承認の件

平成26年度 事業報告

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1) 会議の開催

会議名	期 日	会 場
定期総会	平成26年 5月25日(日)	アゼリアホール
理事会	第1回	平成26年 4月26日(土)
	第2回	平成26年 7月19日(土)
	第3回	平成26年 9月27日(土)
	第4回	平成26年11月29日(土)
	第5回	平成27年 1月17日(土)
	第6回	平成27年 3月14日(土)

(2) 会員管理事務

① 会員の入退会管理 (平成27年3月31日現在)

会 員 数				異 動 届			
名				件			
一 般	自 宅	入 会	退 会	勤務先変更	転 出	転 入	アドレス変更
416名	11名	39名	9名	14件	7件	3件	9件

② 電子メール連絡網更新 (名簿作成とメール配信を含む)

③ その他

(3) 文書処理

	総 数	会 員	OT協会	他士会	鳥取県	鳥取県社協	その他
文書受取・ 保管	304件	2件	33件	152件	17件	16件	84件

(4) 作業療法士に関する全国組織との連携

① 日本作業療法士協会

- i. 定時社員総会：平成26年5月31日(土) 東京 鳥取県代議員：松本太蔵、土肥繁樹
- ii. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会合同役職者研修会出席：  
平成26年7月26日(土) 27日(日) 東京 会長：松本太蔵 事務局長：山下大輔
- iii. 47都道府県委員会キックオフミーティング：  
平成27年2月15日(日) 東京 会長：松本太蔵
- iv. 介護予防市町村支援事業に関する研修会：平成26年8月9日(土) 東京 会長：松本太蔵
- v. 会員情報システム整備の管理 中部地区副会長 松井香
- vi. 日本作業療法士協会の現況調査の入力・提出
- vii. その他 なし

② 都道府県作業療法士会連絡協議会

- i. 総会：平成26年6月1日(日) 東京 会長：松本太蔵

③ 災害リハビリテーションコーディネーター研修会

- i. 研修会：平成27年3月1, 2日 東京都 理事：佐野和代

④ 特設委員会の設置

- ・ 地域包括ケアシステム委員会  
担当者：佐野和代理事(東部)、福井由香里理事(中部)、永見忠志理事(西部)
- ・ 生活行為向上マネジメント特設委員会  
担当者：土井宣幸副会長
- ・ 認知症対策特設委員会  
担当者：田住秀之理事

2. 東部支部

(1)東部地区の会員管理事務

(2)封筒作成：封筒作成：角2号 1.500枚

3. 中部支部

(1)中部地区の会員管理事務

(2)全域の会員管理事務

全域の入退会管理、名簿作成、地区電子メール連絡網更新し、本部事務局へ提出

4. 西部事務局

西部地区の会員管理事務

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること

(1)鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整

①平成26年度介護専門職研修事業 研修企画会議出席

平成26年7月29日(火)、平成27年3月11日(水) 中島 直(鳥取医療センター)

②介護専門職研修 講師 調整

i 「福祉用具・住宅研修」 平成26年 7月 5日(土) 永原 祐(とみます外科)

ii 「高次脳機能障害」 平成26年 7月17日(木) 佐野 積(大山リハビリテーション病院)

iii 「住環境整備」 平成26年11月18日(火)

梅津 清司郎、竹田 佳弘(藤井政雄記念病院)

iv 「高齢者と楽しむレクリエーション」平成27年 1月 9日(金) 加藤 淳美(サンライズ名和)

平成27年 1月14日(水) 坂本 一郎(さとに田園クリニック)

(2)特別支援教育への協力

①会員学校との連絡調整、実績集計

i 西部特別支援学校2件 食事、生活動作 来間 寿史(YMCA 米子医療福祉専門学校)

ii 特別支援教育部自主研修会 講師

平成26年12月22日(金) 谷口 弘(鳥取療育園)

②教育委員会との連携(特別支援学校のセンター的機能充実事業)

i 倉吉養護学校への協力会員人選

来間 寿史(YMCA 米子医療福祉専門学校)西村 純一、山根 由紀子、小谷 知香、

泉 香奈子(清水病院)上川 直人、河田 修(野島病院)

ii 協力会員研修 平成26年10月15日、12月3日 平成27年2月25日野島病院にて開催

iii 教育機関への協力の現状と県OT士会の協力について

(県教育委員会指導主事と話し合い:倉吉養護学校)平成27年2月18日 谷口 弘(鳥取療育園)

(3)日本作業療法士連盟 総会、研修会 不参加。

(4)国民のための医療推進協議会鳥取集会 未開催

(5)その他

①日本嗜癖行動学会 鳥取大会：とり銀文化会館

平成26年11月15日(土) 東部副会長：長田 貴徳(尾崎病院)

②地域包括ケアシステムについて長寿社会課に説明：中部総合事務所

平成26年12月16日(火) 会長：松本 太蔵

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行(年4回)

発行号数	担当施設名
83号(6月発行)	皆生温泉病院
84号(8月発行)	鳥取大学医学部附属病院
85号(11月発行)	鹿野温泉病院
86号(2月発行)	野島病院

2. 広報資料の取り寄せ（日本作業療法士協会より）

リーフレット改訂	1,000部
ポスター	150部
オペラ18号	300部

3. 学校への啓発・広報活動

(1)資料配布

①高校への配布

配布先	実施時期	配布内容
各高校	7月	施設見学案内、ポスター等

②委員会・小学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）

配布先	配布数	配布内容
教育委員会	23件	パンフレット、リーフレット
小学校	135件	
特別支援学校	9件	
合計	167件	

(2)施設見学

	実施日	人数	受け入れ施設名
中部	8月30日	1名	三朝温泉病院（三浦純）
西部	7月29日	5名	鳥取大学医学部附属病院（田村理恵）
	8月11日		
合計	—	6名	

4. 一般への啓発・広報活動

(1)福祉機器展でのOTパンフレット等の配布：平成26年度福祉機器展の開催なし。

(2)作業療法推進キャンペーン活動開催

①主催：一般社団法人 日本作業療法士協会

②共催：一般社団法人 鳥取県作業療法士会

③期日：平成26年11月15日（土） 10:00～15:00

④会場：ショッピングセンター パープルタウン 1階 パータン広場

⑤内容：i. 作る—作るって楽しい！飾り箱作り

ii. 自助具作り—自助具ってなあに？洗濯バサミ・おゆまるで簡単自助具作り

iii. 自助具体験—片手で出来る薬袋開け・片手で出来るネクタイ結び  
（生活の工夫と自助具体験）

iv. 相談する—リハビリについて、進路について

v. 作品展示—作業療法って？DVD上映・作品展示・自助具展示

⑥来場者：98名

⑦担当者

統括	勝部 智子（倉吉病院）
実行委員長	河田 修（野島病院）
会場担当	青山 千穂（野島病院）
企画担当	橋本 順子（鳥取大学医学部附属病院）
広報担当	下石 勝哉（鳥取生協病院）
会計担当	福田 和子（鹿野温泉病院）
ホームページ担当	稲田 拓也（渡辺病院）
その他	景山 直史（皆生温泉病院）

⑧協力者：29名（士会 28名、協会 1名）

日本作業療法士会 広報部員：関本 充史

鳥取県士会：河田 修、青山 千穂、竹谷 豊、増尾 奈々、中井 佑実、松岡 奈緒子、  
本庄 美紀子（野島病院）

園山 美由紀（藤井政雄記念病院）

山本 一輝（ル・サンテリオン）

兼藤 紗絵子、岩田 由紀、山本 麻未、高塚 沙紀、河上 貴彦、勝部 智子（倉吉病院）  
山本 由貴子、下石 勝哉、服部 未来子、藤原 礼奈（鳥取生協病院）  
景山 直史、表 昌志、三上 将史、堀尾 由子（皆生温泉病院）  
宮代 美紀、江谷 直子、田中 良子（鹿野温泉病院）  
橋本 順子、田村 理恵（鳥取大学医学部附属病院）

5. 作業療法推進月間（8月）

(1)ポスターの配布

県内のOT在籍施設、市町村役場、OTが不在籍の病院・老健（8施設）

(2)オペラ18号の配布

県内のOT不在籍の病院・老健（8施設）

6. ホームページ管理・更新

・新規掲載記事 233件

7. 日本作業療法士協会との連携

・Web会議：実務なし

8. その他

・リーフレット作成（1,000枚印刷）

## ◎ 事業部

1. 第11回鳥取県作業療法学会

(1)会期：平成26年11月2日（日）

(2)会場：養和病院リハビリテーションセンター 地域交流ホール

(3)主題：私が“私らしく”いられる「作業」を

～「やりたい」の希望から「できた」の喜びにつなげていくために～

(4)内容：①特別講演 演題：「地域包括ケアに向けた地域生活支援」

～生活行為向上マネジメントのもつ意味～

講師：土井 勝幸 氏（日本作業療法士協会常務理事）

②生活行為向上マネジメント実践報告会

報告者：松井 香 氏（藤井政雄記念病院）

報告者：小磯 孝則 氏（訪問リハビリテーションゆうとぴあ）

③学術集会 演題発表13題

(5)参加者：185名（会員148名、会員外の作業療法士5名、一般18名、学生14名）

(6)委員会：①役割

学会長	横野 洋子（仁風荘）
実行委員長	土井 宣幸（はまかぜ）
副実行委員長	足立 直也（博愛病院）
広報	山本 香織（おしどり荘） 宮崎 亜希（おしどり荘）
演題	原 美苗（錦海リハビリテーション病院）
学会誌・プログラム	作野 亘（なんぶ幸朋苑）
会計	宮崎 篤（済生会境港総合病院）
会場・機器	金山 雄気（養和病院） 梅原 慎二（養和病院）
各担当調整役	永見 忠志（皆生温泉病院）
事業部	段 敬史（サンライズ名和）

当日スタッフ

司会：加藤 淳美（サンライズ名和）

会場：山下 大輔（養和病院）栗塚 俊介（養和病院）  
桐原千賀子（養和病院）

駐車場：月森 健人（養和病院）三上 将史（皆生温泉病院）  
藤井 慎一郎（はまかぜ）

受付：仲田 奈生（大山リハビリテーション病院）新宮 美香（博愛病院）

江原 貴子 (大山リハビリテーション病院)  
仙田 春菜 (錦海リハビリテーション病院)  
佐藤 広子 (錦海リハビリテーション病院)

②委員会開催

第1回 平成26年 4月17日 (木)  
第2回 平成26年 5月22日 (木)  
第3回 平成26年 6月19日 (木)  
第4回 平成26年 7月10日 (木)  
第5回 平成26年 8月21日 (木)  
第6回 平成26年 9月 4日 (木)  
第7回 平成26年 9月 9日 (火)  
第8回 平成26年10月 2日 (木)  
第9回 平成26年10月29日 (水)  
第10回 平成26年11月 1日 (土) 前日打ち合わせ  
第11回 平成26年11月20日 (木) 反省会

2. 第12回鳥取県作業療法学会 (平成27年度開催:担当は東・中部地区)

(1)学会長・実行委員長・副実行委員長の推薦

学 会 長 : 藤田 恵子 (セラトピア)  
実行委員長 : 福田 亜樹子 (巖城はごろも苑)  
副実行委員長 : 西村 純一 (清水病院)

3. 生活行為向上マネジメント研修会

(1)期日:平成27年3月15日 (日)

(2)会場:倉吉病院 アゼリアホール

(3)内容:①講演1 演題:「これからの高齢者福祉と地域包括ケア」  
～作業療法士に期待すること～

講師:小椋 誠 氏 (鳥取県福祉保健部長寿社会課 課長補佐)

②講演2 演題:「生活行為向上マネジメントに関するトピックス」

～作業療法士がしなければいけないこと～

講師:馬場 孝 氏 (YMCA 米子医療福祉専門学校作業療法士科 科長)

③選択研修

コース1:生活行為向上マネジメント概論

模擬事例演習 (シート書き込みのみ)

コース2:模擬事例演習 (シート書き込み・グループワーク)

コース3:自己事例演習 (グループワーク)

(4)参加者:173名 (他県3名、他職種9名)

(5)委員会:実行委員 土井 宣幸 (はまかぜ) 段 敬史 (サンライズ名和)

鬼木 徳子 (やわらぎ) 渡部 幸博 (養和病院)

小磯 孝則 (真誠会) 高平 洋和 (皆生温泉病院)

松崎 真也 (サンライズひえづ) 藤井 慎一郎 (はまかぜ)

松井 香 (藤井政雄記念病院) 梅津 清司郎 (藤井政雄記念病院)

松本 周三 (三朝温泉病院) 長田 貴徳 (尾崎病院)

原田 伸吾 (つむぎ) 坂本 一郎 (さとに田園クリニック)

当日協力 松本 太蔵 (養和病院)

4. 生活行為向上マネジメント全国推進会議

(1)期日:平成26年5月24日 (土) 25日 (日)

(2)会場:東京都台東区秋葉原 秋葉原ビジネスセンター

(3)出席者:土井 宣幸 (はまかぜ)

生活行為向上マネジメント全国推進会議

(1)期日:平成27年1月31日 (土) 2月1日 (日)

(2)会場:東京都台東区秋葉原 秋葉原ビジネスセンター

(3)出席者:土井 宣幸 (はまかぜ)

鬼木 徳子 (やわらぎ)  
松本 周三 (三朝温泉病院)

## 5. 生活行為向上マネジメント研修会 (小勉強会)

### 第2回西部地区開催

- (1)期日：平成26年5月28日 (水)  
(2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校  
(3)内容  
①生活行為向上マネジメント症例発表 発表者：古藤 絵里 氏 (養和病院)  
②生活行為向上マネジメント症例発表 発表者：村瀬 良知 氏 (済生会境港総合病院)  
③生活行為向上マネジメント進捗状況 講 師：土井 宣幸 氏 (はまかぜ)  
馬場 孝 氏 (YMCA米子)

(4)参加者：54名 学生20名

### 第2回東・中部地区開催

- (1)期日：平成26年6月14日 (土)  
(2)会場：ル・サンテリオン 会議室  
(3)内容  
①生活行為向上マネジメント症例発表 発表者：河上 貴彦 氏 (倉吉病院)  
②生活行為向上マネジメント症例発表 発表者：松本 周三 氏 (三朝温泉病院)  
③生活行為向上マネジメント進捗状況 講 師：土井 宣幸 氏 (はまかぜ)

(4)参加者：30名

### 第3回西部地区開催

- (1)期日：平成26年9月3日 (水)  
(2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校  
(3)内容：①選択コース ・生活行為向上マネジメント概論  
・模擬事例演習 (書き込み)  
・模擬事例演習 (グループワーク)  
講師：馬場 孝 氏 (YMCA米子)  
土井 宣幸 氏 (はまかぜ)  
鬼木 徳子 氏 (やわらぎ)  
②生活行為向上マネジメント事例報告  
報告者：深田 賢史郎 氏 (皆生温泉病院)

(4)参加者：42名 学生16名

### 第3回東・中部地区開催

- (1)期日：平成26年9月20日 (土)  
(2)会場：ル・サンテリオン 会議室  
(3)内容：①選択コース ・生活行為向上マネジメント概論  
・模擬事例演習 (グループワーク)  
講師：土井 宣幸 氏 (はまかぜ)、鬼木 徳子 氏 (やわらぎ)  
②生活行為向上マネジメント事例報告  
報告者：前谷 達也 氏 (ル・サンテリオン)  
③生活行為向上マネジメント事例報告  
報告者：南 庄一郎 氏 (鳥取医療センター)

(4)参加者：31名

### 第4回西部地区開催

- (1)期日：平成27年1月21日 (水)  
(2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校  
(3)内容：①オリエンテーション  
②選択コース ・生活行為向上マネジメント概論  
・模擬事例演習 (グループワーク)  
・自己事例演習 (グループワーク)  
講師：馬場 孝 氏 (YMCA米子)、土井 宣幸 氏 (はまかぜ)

鬼木 徳子 氏 (やわらぎ)

(4)参加者：44名

第4回東・中部地区開催

(1)期日：平成27年1月25日(日)

(2)会場：ル・サンテリオン 会議室

(3)内容：①オリエンテーション

②選択コース ・生活行為向上マネジメント概論  
・模擬事例演習(グループワーク)

講師：鬼木 徳子 氏 (やわらぎ)

(4)参加者：30名

6. 中国ブロック生活行為向上マネジメント研修会 in 広島

(1)期日：平成26年7月12日(土) 13日(日)

(2)会場：広島国保会館

(3)内容：①講演「すべての人に良い作業を」

講師：吉川 ひろみ 氏 (県立広島大学)

「生活行為向上マネジメントとは」

講師：小林 隆司 氏 (首都大学東京)

「日本OT協会の意気込み」

講師：荻山 和生 氏 (佛教大学)

②ワークショップ

(4)実行委員：県士会より派遣2名

土井 宣幸 (はまかぜ)、鬼木 徳子 (やわらぎ)

(5)参加者：23名 (鳥取県士会)

7. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1)期日：平成27年2月28日(土)～3月1日(日)

(2)会場：養和病院リハビリテーションセンター 4階 地域交流ホール

(3)内容：2月28日

①講演「地域包括ケアに求められるセラピストの役割」

～訪問セラピスト従事者の周囲で今、何が起きているのか？

これから何が起ころのか？～

講師：逢坂 伸子 氏 (財団法人訪問リハビリテーション振興財団 理事)

②講演「テクニカルエイド」～生活の視点で役立つ選び方・使い方～

講師：内田 正剛 氏 (株式会社くますま 熊本住まい研究所 全国訪問リハ協会 理事)

3月1日

③講演「訪問リハにおけるリスク管理」～フィジカル・アセスメント：事例を通して～

講師：角田 賢 氏 (錦海リハビリテーション病院 副院長 全国回復期リハ病棟協会 理事)

④講演「認知症のリハビリテーション」

講師：荻山 和生 氏 (佛教大学 保健医療技術学部 作業療法科 准教授)

(4)参加者：130名 (内 作業療法士75名)

(5)委員：松本 太蔵 (養和病院) 段 敬史 (サンライズ名和)

当日協力 門脇 達也 (養和病院) 松井 美千代 (サンライズひえづ)

渡部 幸博 (養和病院) 村瀬 良知 (済生会境港総合病院)

8. 訪問リハ地域リーダー会議

(1)期日：平成26年5月16日(金) 17日(土)

(2)会場：東京都江東区青梅 タイム24ビル

(3)出席者：松本 太蔵 (養和病院)

9. 訪問リハビリテーションフォーラム2014

(1)期日：平成26年5月18日(日)

(2)会場：東京都江東区有明 東京ビッグサイト

(3)出席者：松本 太蔵 (養和病院)

10. 生活行為向上マネジメント委員会

(1)委員会メンバー

理事:土井宣幸 委員長:鬼木徳子

東部リーダー:原田伸吾 副リーダー:坂本一郎

中部リーダー:梅津清司郎 副リーダー:松本周三

西部リーダー:渡部幸博 副リーダー:小磯孝則

委員:清水里江子、南庄一郎、谷本卓矢、景本由美子

小南哲、岩田由紀、泉香奈子、峰地由香里

高平洋和、松崎真也、藤井慎一郎、八幡智紀、廣瀬晃子

相談役:長田貴徳、佐野和代、福井由香里、松井香、田住秀之、馬場孝

(2)特設生活行為向上マネジメント委員会(全県)

出席者:推進員、研究員、東中西部リーダー、副リーダー、各地区相談役

第1回 平成26年11月23日(日) 藤井政雄記念病院

第2回 平成26年 2月15日(日) 藤井政雄記念病院

(3)生活行為向上マネジメント地区委員会

西部地区委員会:平成26年12月 9日(火) 平成27年1月14日(水)

平成27年2月25日(水)

中部地区委員会:平成27年12月 3日(水) 平成27年2月17日(火)

東部地区委員会:平成26年12月10日(水) 平成27年2月18日(水)

◎ 学術部

1. (テーマ別)勉強会実施

地区	テーマ名	登録者数(前年数)	補助金支給額	登録割合(前年)
東部	全 般	68名(55名)	8,582円	68名/(55名)
中部	中部合同	36名(32名)	13,686円	49名/(45名)
	精 神 科	13名(13名)	0円	
西部	作業を考える	21名(31名)	0円	123名/(121名)
	C V A	40名(34名)	0円	
	福祉機器・住環境	25名(23名)	1,080円	
	精 神 科	26名(25名)	0円	
	治療演習	11名(8名)	0円	
総計	—	240名(221名)	23,348円	240名/(221名)

2. 県士会高額支援費事業

(1)中部地区精神科勉強会

i 内容:「認知行動療法について ~認知症編~」

講師 竹田 伸也 氏(鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学専攻 講師)

ii 期日:平成26年7月27日(日) 13:15~16:30

iii 会場:倉吉未来中心 2階 セミナールーム7

iv 参加人数:40名

v 支援支給額:37,000円

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1)ホームページ「生涯教育制度について」更新:H26.4.1実施

(2)生涯教育履修状況の管理—生涯教育履修リスト更新:県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行.認定OT5名、基礎研修修了者21名(2月26日)

(3)基礎研修ポイント管理・発行

①協会よりポイントシール返却・受領:H26.5.23 残シール164枚返却・H26.6.06 1000枚受領

②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行:H26.3.31 平成26年度分発行予定

③現職者共通研修修了ポイント発行:13件

④現職者選択研修会ポイント発行:H26.1.31 参加67名 134ポイント発行

⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行：H26.11.02：参加148名 発表15名 326ポイント発行

⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行：8件 1000ポイント

区分	名 称	開 催 期 日	発行数
主催	第2回西部地区 生活行為向上マネジメント研修会	平成26年5月28日	56p
主催	第2回東・中部地区 生活行為向上マネジメント研修会	平成26年6月14日	38p
主催	第3回西部地区 生活行為向上マネジメント研修会	平成26年9月03日	56p
主催	第3回東・中部地区 生活行為向上マネジメント研修会	平成26年9月20日	48p
主催	生活行為向上マネジメント第4回西部地区研修会	平成27年1月21日	76p
主催	生活行為向上マネジメント第4回東・中部地区研修会	平成27年1月25日	66p
主催	第4回鳥取県訪問リハビリテーション実務者研修会	平成27年2月28・1日	332p
主催	生活行為向上マネジメント大研修会	平成27年3月15日	328p

⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行：36件 106ポイント

## 2. 生涯教育制度に関する開催

### (1)現職者共通研修会

期日と会場	区分	テ ー マ	講 師	認定数
①前期 7月27日(日) 会場：中部 倉吉未来中心	I	作業療法生涯教育概論	土肥 繁樹：渡辺病院	22
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院	23
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	25
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA 米子	24
②後期 10月26日(日) 会場：東部 鳥取医療センター	II	作業療法の可能性	早川 泰詞：山陰労災病院	23
		事例報告と事例研究	花倉 敏文：養和病院	23
	IV	日本と世界の作業療法の動向	佐野 積：大山リハ病院	14
		実践のための作業療法研究	松本 太蔵：養和病院	14

## 3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1)現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定）

地区	テーマ名	件数 (前年度)	認定者数（前年度）	
			事例報告	事例検討
東部	全 般	2 (0)	4	0
中部	中部合同	2 (1)	4	4
	精 神 科	1 (3)	1	0
西部	作業を考える	1 (0)	1	0
	C V A	5 (6)	5	5
	社会資源	0 (0)	0	0
	治療演習ADL分析	0 (0)	0	0
	精 神 科	0 (0)	0	0
計		11 (10)	15 (11)	9 (13)

(2)基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）：なし

(3)SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）：なし

## 4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

(1)生涯教育制度推進委員会への出席：平成26年10月4日（土）5日（日）

平成26年度生涯教育制度推進担当者会議（東京文具共和会館）

## 5. 会員への情報伝達

(1)県士会ニュースへの掲載：11月「平成26年度 生涯教育制度推進担当者会議 報告」

(2)ホームページへの掲載：H26.5.28 前期現職者共通研修会 8.19 後期現職者共通研修会

H26.9.02 山口現職者選択研修会案内

(3)メール配信（特定会員向け）

6. 他部との連携・協力:2件（問い合わせへの回答）

(1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など

(2)事業部：現職者選択研修会、鳥取県作業療法学会など

(3)事務局：会員管理事務など

## ◎ 領域対策部

1. 現職者選択研修（身体障害領域）

(1)期日：平成27年1月31日（土） 9：00～16：30

(2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校 202 教室

(3)内容：

テーマ1：「身体障害領域の作業療法」	高梨悠一：YMCA米子医療福祉専門学校
テーマ2：「脳血管障害」	高梨悠一：YMCA米子医療福祉専門学校
テーマ3：「神経筋・内部障害（癌、呼吸器・循環器、膠原病）」	酒井ひとみ：関西福祉科学大学
テーマ4：「筋骨格系・外傷」	酒井ひとみ：関西福祉科学大学

(4)参加者：72名（県内67名 県外5名）

2. 情報配信

(1) 配信回数 54件（平成26年4月～平成27年3月29日）

## ◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1)会費徴収

①会員数：430名

②会費納入者数：425名（内2名は前県士会で納入）

③会費未納者数：5名

④徴収率：98%

(2)未納者への督促

①ホームページや県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT協会）を掲載

②平成26年11月末に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

120名の加入手続きを行った

3. 予算事務に関する特記事項

(1)～(5)については計上した予算は決算書のとおり執行した

## ◎ 規約委員会

1. 規約委員会開催

日時：平成26年6月メール委員会開催 開催回数1回

内容：定款12条の会員資格喪失に伴う権利及び義務についての確認事項

## ◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演

(1)期日：平成26年7月27日(日) 11：10～12：40

(2)会場：倉吉未来中心

(3)講師：長田貴徳

2. 相談への対応

相談件数：0件

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

一般社団法人日本作業療法士協会 倫理委員会への報告はなし

## ◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書作成
2. 定時社員総会の開催
  - (1)期日：平成26年5月25日(日) 10:00～12:00
  - (2)会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根）
  - (3)内容：平成25年度事業報告書承認  
平成25年度決算報告書承認及び監査報告  
休会規程承認  
平成26年度事業計画及び予算
  - (4)その他：議長 徳田尚子（倉吉スターロイヤル）  
書記 菅谷敦史、前谷達也（ル・サンテリオン）

## ◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

1. 地域包括ケアシステム対策委員会・認知症対策委員会・生活行為向上マネジメント委員会  
合同会議開催
  - (1)日 時：平成27年2月15日（日）
  - (2)参加者：山下大輔事務局長 長田貴徳（東部地区副会長） 松井 香（中部地区副会長）  
土井宣幸（西部地区副会長・生活行為向上マネジメント委員会委員長）  
佐野和代（東部地区理事） 福井由香里（中部地区理事） 永見忠志（西部地区理事）  
田住秀之（養成校理事・認知症対策委員会委員長） 小椋善文（米子市市役所）
  - (3)会議内容
    - ①各委員会責任者確認と決定 地域包括ケア対策委員会 西部理事 永見忠志  
認知症リハ 西部理事 田住秀之  
生活行為向上マネジメント 西部副会長 土井宣幸
    - ②米子市役所 小椋氏より米子市の現状を例に地域包括ケアシステムについての説明を受け、情報の共有をした。
    - ③27年度各理事会後に担当メンバーは地域包括ケアシステム・認知症対策・生活行為向上マネジメントについての情報交換を行い。各課題に対しての対策・解決作業を共通認識のもと進めることを決定。

## ◎ 認知症対策委員会

1. 委員会メンバーの選出  
委員長：田住 秀之  
委員：國本 尚史（渡辺病院）  
山根 七恵（倉吉病院）  
山本 麻未（倉吉病院）  
赤井理智子（西伯病院）  
門脇 達也（養和病院）  
金山 雄気（養和病院）

## ◎ その他

第2号議案 平成26年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録					
平成27年3月31日現在					
(単位:円)					
科目		金額			
資産の部	1.流動資産			2,016,984	
	1)現金		304,922	304,922	
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務)	768,892		
	普通預金	" 三柳支店 303940(事務局)	649		
	普通預金	" 三柳支店 303950(事業)	497,035		
	普通預金	" 三柳支店 303978(領域対策)	0		
	普通預金	" 三柳支店 303987(広報)	0		
	郵便振替	ゆうちょ銀行	445,486	1,712,062	
	3)立替金		0	0	
	2.固定資産			250,000	
(1)特定資産					
1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行	250,000	250,000		
資産合計				2,266,984	
債の部	I.流動負債			40,000	
	1)前受金				
		正会員会費 H27 8件	40,000	40,000	
		負債合計			40,000
	正味財産			2,226,984	

貸借対照表			
平成27年3月31日現在			
(単位 円)			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【2,016,984】	【流動負債】	【40,000】
現金・預金	2,016,984	前受金	40,000
立替金	0	負債合計	40,000
		純資産の部	
【固定資産】	【250,000】	【剰余金】	【2,226,984】
(特定資産)	(250,000)	啓発グッズ積立金	250,000
啓発グッズ積立預金	250,000	繰越利益剰余金	1,976,984
		純資産合計	2,226,984
資産合計	2,266,984	負債・純資産合計	2,266,984

## 収支計算書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

勘定科目							備 考	
大科目	予算額	決算額	差額	小科目	金額	決算額	差額	
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
会費収入	2,010,000	2,119,000	△ 109,000	年会費	2,010,000	2,119,000	△ 109,000	5,000円×423名 4,000円×1名(H25年度分)
研修会収入	590,000	924,800	△ 334,800	第11回県学会	280,000	306,000	△ 26,000	2,000円×153名
				現職者共通研修	80,000	84,000	△ 4,000	1,000円×82名、500円×4名
				現職者選択研修	120,000	144,000	△ 24,000	2,000円×62名、4,000円×5名
				生活行為向上	100,000	360,800	△ 260,800	2,000円×147名、3,000円×3名、5,000円×9名 200円×64名
				テーマ別勉強会	10,000	30,000	△ 20,000	1,000×30名 中部精神科
補助金等の収入	20,000	120,000	△ 100,000	活動費	20,000	20,000	0	日本作業療法士協会
				助成金	0	100,000	△ 100,000	日本作業療法士協会(平成26年度生活行為向上マネジメント助成事業)
				賛助費	0	0	0	
雑収入	1,000	40,151	△ 39,151	雑収入	1,000	40,151	△ 39,151	鳥取県老人保健施設協会協賛金40,000円、預金利息151円
事業活動収入合計(A)	2,621,000	3,203,951	△ 582,951				0	

2. 事業活動支出															
(1) 管理運営部門															
	当初予算額	第2次補正予算額	決算額	差額	中項目	第2次補正予算額	決算額	差額	小項目	第2次補正予算額	決算額	差額	備考		
事務局	503,000	586,300	384,422	201,878	事務費	69,920	38,753	31,167	事務用品費	24,920	2,825	22,095	ファイル、コピー用紙(本部1,425円、中部1,400円)		
									通信費	10,000	1,908	8,092	メール便、振り込み手数料		
									封筒作成費	35,000	34,020	980	角2封筒1,500枚		
					会場費	9,000	8,764	236	会場費	9,000	8,764	236	理事会6回 施設利用費	4月1,496円、7月1,114円、9月1,352円、11月1,606円、1月1,844円、3月1,352円	
													理事会6回分	90,500円	
													平成26年度定時社員総会	日当10,000(5,000円×2名)	
					役務費	390,380	252,720	137,660	旅費	390,380	252,720	137,660	日作協役職者研修会	83,780円(東京2日間:日当5,000円×2日×2名、宿泊費・交通費63,780円)	
													都道府県OT連絡会議会総会	14,440円(東京:日当5,000円×1日 宿泊費9,000円 交通費440円)	
													県民税納税500円、市民税納税500円		
													介護予防市町村支援事業実施に関する研修会	日当5,000円	
													中国支部支部長会	17,300円(日当5,000円、旅費12,300円)	
													地域包括ケアシステム交通費	25,200(東部19,200円、西部6,000円)	
													47都道府県委員会キックオフミーティング	日当5,000円	
YMCA卒業式	500円														
需用費	6,000	979	5,021	茶菓子代									6,000	979	5,021
税金	81,000	60,000	21,000	法人県民税									21,000	0	21,000
				法人市民税	60,000	60,000	0								
負担金	20,000	20,000	0	年会費	20,000	20,000	0	都道府県作業療法士会連絡会議							
慶弔費	10,000	3,206	6,794	慶弔費	10,000	3,206	6,794	電報							
規約委員会	16,000	16,000	0	16,000	事務費	1,400	0	1,400	事務用品費	1,000	0	1,000			
									通信費	400	0	400			
倫理委員会	9,000	9,000	6,415	2,585	事務費	3,000	1,879	1,121	事務用品費	2,000	1,879	121	ファイル、コピー用紙605円 USBフラッシュメモリー1274円		
									通信費	1,000	0	1,000			
総会議事運営委員会	20,000	20,000	4,536	15,464	事務費	2,000	0	2,000	事業費	6,000	4,536	1,464	職業倫理に関する書籍2冊		
									事務用品費	1,000	0	1,000			
総会	20,000	20,000	4,536	15,464	会場費	18,000	4,536	13,464	通信費	1,000	0	1,000			
									会場費	18,000	4,536	13,464	総会会場費(会場代、備品使用代)		
(2) 事業費支出															
渉外部	26,000	27,500	8,200	19,300	事務費	1,700	700	1,000	事務用品費	700	200	500	資料ファイル		
									通信費	1,000	500	500	テレフォンカード		
					役務費	22,800	7,500	15,300	旅費	22,800	7,500	15,300	あいサポート関連交通費	500円	
													日本嗜癡行動学会	500円	
													県庁訪問	3,000円	
研修会費	3,000	0	3,000	研修会費	3,000	0	3,000	県教育委員会訪問	1,500円						
								YMCA米子医療福祉専門学校入学式交通費	500円						
広報部	307,000	372,756	353,619	19,137	事務費	93,156	85,290	7,866	地域医療介護総合確保基金のためのヒアリング	1,500円					
									日本作業療法士連盟研修会費						
					印刷費	145,000	146,448	△1,448	印刷費	145,000	146,448	△1,448	ニュース事務費	268円、啓発キャンペーン材料代6,630円	
													資料送料		
					ホームページ費	59,000	50,522	8,478	管理費	48,000	50,522	△2,522	ニュース印刷費	81,864円	
									作成費	11,000	0	11,000	リーフレット作成費(1,000枚)	64,584円	
役務費	51,600	47,800	3,800	旅費	51,600	47,800	3,800	HP更新料	40,824円(3,402×12ヶ月)、レンタルサーバー6,480円(年間)、オリジナルドメイン維持費3,218円(年間)						
								啓発キャンペーン:事前編現場検証打合せ	1,500円(500円×3名)、当日スタッフ24,900円(500円×15名+1,200円×7名+1,500円×6名)						
需用費	24,000	23,559	441	食糧費	21,000	20,876	124	広報部会議交通費	20,900(500円×7名+1,200円×7名+1,500円×6名)、公印受渡500円						
					茶菓子代	3,000	2,683	317	啓発キャンペーンスタッフ弁当代	18,000円(600円×30名) 飲物代	2,876円				

事業部	1,059,000	1,260,420	1,012,811	247,609	事務費	3,200	0	3,200	事務用品費	1,700	0	1,700					
								通信費	1,500	0	1,500						
					第11回県学会	635,080	584,222	50,858	講師費	141,280	141,280	0	特別講演 報償費 36,000円 旅費 103,780円(米子⇄仙台 交通費88,660円+宿泊費15,120円) 学術集会 旅費 1,500円(500円×3)				
									会場費	50,600	16,000	34,600	会場費 16,000円				
									印刷製本運搬費	240,900	255,214	△ 14,314	プログラム印刷代 60,900円 (200部) 学会誌印刷製本 194,314円(450部)				
									会議費	5,000	5,000	0	講師打合せ会場費 5,000円				
									事務費	55,000	46,962	8038	事務費 4,070円 通信費 42,892円				
									役務費	74,000	70,500	3,500	委員旅費 57,500円(500円×6名×12回、500円×2名×11回、500円×1名×10回、500円×1名×5回、500円×1名×4回、500円×2名×1回) スタッフ交通費 11,000円(500円×10名×2回、500円×2名×1回) 実践者報告交通費 2,000円(1,500円、500円)				
									需用費	61,300	49,266	12,034	講師茶菓子 6,427円 講師・座長昼食 2,760円(690円×4名 (講師1、座長3)) 役員3名昼食 2,070円(690円×3名 (会長、学会長、実長)) 委員・担当昼食 16,560円(690円×24名) 委員茶菓子代 7,849円 委員前日夕食 5,600円 (700円×8名) 講師夕食 1,000円 委員当日夕食 7,000円 (700円×10名)				
									予備費	7,000	0	7,000					
									第12回県学会	10,200	10,100	100	役務費	10,200	10,100	100	委員交通費 500円×2名×2回、500円×3名×1回、1,200円×1名×2回、1,200円×1名×1回、1,500円×1名×2回
									生活行為向上研修	430,100	307,999	122,101	講師費	136,840	17,500	119,340	全体研修:報償費16,000円、旅費1,500円
					会場費	38,500	18,046	20,454					全体研修:14,364円 地域別研修:3,682円				
					印刷製本費	25,000	29,700	△ 4,700					全体研修:29,700円				
					会議費	5,000	5,000	0					全体研修:講師打合せ会場費 5,000円				
					事務費	2,000	0	2,000									
					役務費	168,440	183,700	△ 15,260					全体研修:19,600円(500円×5名、1,200円×3名、1,500円×9名) 地域別研修17,000円(東中部12,000円、西部5,000円) 委員会:全県17,700円、東部6,500円、中部6,500円、西部12,000円 第2回全国推進会議 日当10,000円(5,000円×2日×1名) 第3回全国推進会議 74,400円(旅費44,400円、日当30,000円(5,000円×2日×3名)) 中国ブロック生活行為向上マネジメント研修会日当 20,000円(5,000円×2日×2名)				
					需用費	19,700	24,053	△ 4,353					全体研修:講師昼食 2,000円 全体研修:役員昼食 4,000円(1,000円×4名) 全体研修:委員昼食 9,100円(700円×13名) 全体研修:委員夕食 7,000円(700円×10名) 全体研修:講師茶菓子代 978円 全体研修:委員茶菓子代975円				
					負担金	30,000	30,000	0					中国ブロック生活行為向上マネジメント研修会in広島				
					予備費	4,620	0	4,620									
					訪問リハ	181,840	110,490	71,350					旅費	86,840	56,490	30,350	訪リハ地域リーダー育成:56,490円(旅費 東京⇄米子 交通費8,490円、宿泊費8,000円、日当10,000円(5,000円×2日×1人))
									負担金	15,000	14,000	1,000	訪問リハビリテーションフォーラム:14,000円(宿泊費9,000円、日当5,000円)				
									負担金	80,000	40,000	40,000	訪問リハビリテーション地域振興会				

学術部	212,000	212,000	71,172	140,828	事務費	2,000	0		事務用品費	1,000	0	1,000					
									通信費	1,000	0	1,000					
									事務費	160,000	23,348	136,652	勉強会活動費	160,000	23,348	136,652	東部全般8,582円 中部精神科13,686円 福祉用具・住環境1,080円
									研修会支援費	50,000	4,782	2,176	研修会支援費	50,000	4,782	2,176	高額研修(中部精神科)
教育部	189,000	189,000	161,760	27,240	事務費	7,800	5,700	2,100	事務用品費	3,000	2,004	996	事務用ファイル				
									通信運搬費	4,800	3,696	1,104	振込み料金 216円×6、切手120円×20				
									講師費	143,400	138,300	5,100	報償費	120,000	114,000	6,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導66,000円(6,000円×11名)
													旅費	23,400	24,300	△ 900	現職者共通研修 17,400円(前期1,200円×2名、1,500円×2名、後期3,000円×4名) 事例報告 6,900円(500円×9名、1,200円×2名)
													会場費	30,000	13,260	16,740	会場費
									役務費	7,800	4,500	3,300	旅費	7,800	4,500	3,300	現職中部3,500円(500円×1名、1,500円×2)現職東部500円(500円×1名)、県学会0円、現職選択研500円(500円×1名)
領域対策部	213,000	213,000	144,134	68,866	事務費	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	0	1,000					
									通信費	1,000	0	1,000					
									現職者選択研修	211,000	144,134	66,866	講師費	125,840	73,600	52,240	報償費 県外36,000円 県内12,000円 旅費 25,600円(県外講師 大阪⇄米子 交通費 19,260円 宿泊費 5,840円 県内講師 500円)
													会場費	20,000	5,000	15,000	会場費
													印刷製本費	5,000	18,000	△ 13,000	コピー用紙代、印刷トナー代
													会議費	5,000	4,500	500	講師打合せ会場費
													事務費	1,000	0	1,000	
													役務費	25,000	25,000	0	
									需用費	24,300	18,034	6,266	講師昼食 1,180円 192円 委員昼食 5,310円 865円 当日夕食 4,200円 講師茶菓子 4,480円 1,807円				
									予備費	4,860	0	4,860					
財務部	258,000	271,800	197,823	73,977	事務費	20,700	10,193	10,507	事務用品費	5,700	595	5,105	ファイル、コピー用紙、つづりひも				
									通信費	10,000	5,038	4,962	切手代3,444円、振込手数料1,080円、再発行料541円				
									利用料	5,000	4,560	440	会計ソフト年間利用料				
									役務費	37,500	24,000	13,500	旅費	37,500	24,000	13,500	監査5,000円(3,000円×1名、500円×4名)総会費受付6,000円(1,500円×4名)現職者共3,000円(1,500円×2名)県学会1,000円(500円×2名)税理士相談時500円(500円×1回)納税500円(500円×1回)財務部業務8,000円(500円×16回)
									需用費	4,500	2,800	1,700	食糧費	3,500	2,800	700	700円×4名
													茶菓子代	1,000	0	1,000	
									相談費	64,800	64,800	0	相談料	64,800	64,800	0	税理士相談料64,800円
保険費	144,300	96,030	48,270	保険費	144,300	96,030	48,270	800円×120名、手数料30円(30円×1回)									
事業活動支出計 (B)	2,812,000	3,177,776	2,344,892	832,884													
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 191,000	△ 556,776	859,059	△ 1,415,835													

勘定科目	予算額	決算額	差額	小科目	備考
中 科 目					
Ⅱ 投資活動収支の部					
1.投資活動収入					
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0		
投資活動収入計 (D)	0	0	0		
2.投資活動支出					
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0		郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0		
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000	△ 50,000			
Ⅲ 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000		
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 806,776	809,059	△ 1,615,835		
前期繰越収支差額 (I)	1,167,925	1,167,925	0		
次期繰越収支差額 (J) = (H) + (I)	361,149	1,976,984	△ 1,615,835		

正味財産増減計算書

自 平成26年4月1日  
至 平成27年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		( 924,800)	( 570,100)	( 354,700)
	研修会収入	618,800	284,100	334,700
	学会収入	306,000	286,000	20,000
	その他の収入	0	0	0
正会員収入		( 2,119,000)	( 1,580,000)	( 539,000)
	正会員会費収入	2,119,000	1,580,000	539,000
	賛助会員会費収入	0	0	0
補助金収入		( 120,000)	( 2,208,342)	( △2,088,342)
	補助金収入	120,000	2,208,342	△ 2,088,342
雑収入		( 40,151)	( 45,123)	( △4,972)
	雑収入	40,151	45,123	△ 4,972
経常収益計(A)		3,203,951	4,403,565	△ 1,199,614

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
①管理運営部門		( 394,873)	( 460,471)	( △65,598)
	事務局支出	383,922	395,970	△ 12,048
	規約委員会支出	0	346	△ 346
	倫理委員会支出	6,415	5,880	535
	総会議事運営委員会支出	4,536	58,275	△ 53,739
	法人設立委員準備会支出	0	848,275	△ 848,275
②事業費支出		( 1,950,019)	( 1,726,894)	( △223,125)
	渉外部支出	8,700	38,405	△ 29,705
	広報部支出	353,619	257,384	96,235
	事業部支出	1,012,811	717,378	295,433
	学術部支出	71,172	38,495	32,677
	教育部支出	161,760	138,128	23,632
	領域対策部支出	144,134	150,484	△ 6,350
	財務部支出	197,823	386,620	△ 188,797
経常費用計(B)		2,344,892	3,035,640	157,527
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		859,059	1,367,925	△ 508,866
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		( 0)	( 0)	( 0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用		( 0)	0	0
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		859,059	1,367,925	△ 508,866
一般正味財産期首残高(H)		1,367,925	0	1,367,925
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		2,226,984	1,367,925	859,059
II 正味財産期末残高		2,226,984	1,367,925	859,059

## 監査報告書

平成27年 4月20日

鳥取県作業療法士会  
会長 松本大蔵 様

鳥取県作業療法士会  
監事 早川 参 誠  
監事 土記 繁 樹



私ども監事は、平成26年度における鳥取県作業療法士会事業の監査結果について、次のとおり報告します。

### 1. 監査方法の概要

開催された理事会に出席、並びにメール理事会に参加し、事業報告を聴取しました。また、平成26年度一般会計、生涯教育特別会計、鳥取県作業療法学会会計については、会計書類等を閲覧するとともに、各担当者からの執行状況聴取など、必要な監査手続きを実施しました。

### 2. 監査の結果

事業の実施は、適正であることを認めます。  
また、会計についても適正に処理されていることを認めます。

### 3. 監事の意見

会長、副会長、理事、各部長、会員関係各位におかれましては、日頃の業務多忙の中、地域リハビリテーション、生活行為向上リハビリテーションなど、作業療法の開発・普及に関する活動にも熱心に取り組まれておりますことに敬意を表します。

会員の皆様におかれましては、今後も本会の円滑な運営のため、事業への参画ならびに会費納入に、ご理解ご協力をお願いいたします。

### 第3号議案 役員選任の件

代表理事（会長）	松本太蔵（養和病院）
理事（副会長：東部地区）	長田貴徳（尾崎病院）
（〃：中部地区）	松井香（藤井政雄記念病院）
（〃：西部地区）	土井宣幸（老人保健施設はまかぜ）
（東部地区選出理事）	佐野和代（いなば幸朋苑）
（中部地区選出理事）	福井由香里（ル・サンテリオン）
（西部地区選出理事）	永見忠志（皆生温泉病院）
（西部地区選出理事）	田住秀之（YMCA米子医療福祉専門学校）
（事務局長）	山下大輔（養和病院）
（渉外部長）	谷口弘（鳥取療育園）
（広報部長）	勝部智子（倉吉病院）
（事業部長）	段敬史（サンライズ名和）
（学術部長）	佐野積（大山リハビリテーション病院）
（教育部長）	花倉敏文（養和病院）
（領域対策部長）	石津伸介（通所介護ふれあい広場）
（財務部長）	廣江理沙（博愛病院）
監事	早川泰詞（山陰労災病院）
	土肥繁樹（鳥取市医療看護専門学校）

### 第4号議案 その他

平成27年度 事業計画

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1)会議の開催

- ①定期総会 平成27年 5月17日(日)
- ②理事会 第1回 平成27年 4月25日(土)
- 第2回 平成27年 7月4日(土)
- 第3回 平成27年 9月12日(土)
- 第4回 平成27年 11月28日(土)
- 第5回 平成28年 1月23日(土)
- 第6回 平成28年 3月12日(土)

(2)会員管理事務

- ①会員の入退会管理(担当責任:中部地区副会長)
- ②会員の連絡網整備(電子メール連絡網更新)

(3)文書処理

(4)作業療法士に関連する全国組織との連携

- ①日本作業療法士協会
  - i. 定時社員総会:平成27年5月30日(土) 東京 鳥取県代議員:松本太蔵、土肥繁樹
  - ii. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会連絡協議会合同役職者研修会  
開催日時 未定 東京 会長:松本太蔵 理事:永見忠志
  - iii. 47都道府県委員会 年4回 東京
  - iv. 会員情報システム管理 中部事務局
  - v. 日本作業療法士協会の現況調査入力
  - vi. その他
- ③道府県作業療法士会連絡協議会
  - i. 総会:平成27年5月31日 東京 会長:松本太蔵
- ④災害リハビリテーションコーディネーター研修会  
開催日時 未定

(5)その他

2. 東部支部

(1)東部地区の会員管理事務

- ①入退会管理 ②名簿作成、中部支部へ提出 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2)封筒作成

3. 中部支部

(1)中部地区の会員管理事務

- ①入退会管理 ②名簿作成 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2)全域の会員管理事務

- ①全域の入退会管理、本部事務局へ提出
- ②全域の名簿作成、本部事務局・財務部・教育部・中部地区副会長へ提出
- ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

4. 西部支部

(1)西部地区の会員管理事務

- ①入退会管理 ②名簿作成・中部支部へ提出 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること

- (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
  - ①平成27年度介護専門職研修事業 研修企画会議
  - ②平成27年度介護専門研修 講師調整
- (2) 特別支援教育への協力
  - ①会員、学校との連絡調整、実施集計など
  - ②県教育委員会との連携（特別支援学校のセンター的機能充実事業）
- (3) 日本作業療法士連盟総会、研修会
- (4) 国民のための医療推進協議会鳥取集会 総会
- (5) 他の関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応

## ◎ 広報部

1. 士会ニュース発行
  - 年4回発行（87～90号）
2. 広報資料の整備
  - (1) リーフレットの改訂
  - (2) パンフレット（日本作業療法士協会より取り寄せ）
  - (3) オペラ（日本作業療法士協会より取り寄せ）
  - (4) その他
3. 学校への啓発・広報活動
  - (1) 資料配布
    - ①高校への配布（施設見学案内を含む）
    - ②委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）
  - (2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施） 7～8月
4. 一般への啓発・広報活動
  - (1) 作業療法推進キャンペーン活動開催地（東部地区）
  - (2) その他、啓発・広報活動
5. 作業療法推進月間（8月）
  - (1) ポスターの配布（配布先：OT在籍施設、市町村役場、OT不在の病院・老健）
  - (2) オペラ19号の配布
6. ホームページ管理・更新
7. 日本作業療法士協会との連携（Web会議への参加）
8. その他
  - 啓発グッズ作成

## ◎ 事業部

1. 訪問リハビリテーション実務者研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 内容：未定
2. 訪問リハ地域リーダー会議
  - (1) 期日：平成27年5月21日（木）22日（金）
  - (2) 会場：タイム24ビル（東京都江東区青梅）
  - (3) 出席者：松本太蔵（養和病院）
3. 訪問リハビリテーションフォーラム2015
  - (1) 期日：平成27年5月23日（土）
  - (2) 会場：東京ビックサイト（東京都）
  - (3) 出席者：松本太蔵（養和病院）
4. 中国ブロックリーダー養成研修会
  - (1) 期日：平成27年8月29日（土）30日（日）

(2)会場：未定（岡山県での開催）

(3)内容：未定

## ◎ 学術部

### 1. テーマ別勉強会実施

(1)東部地区 1テーマ 全般、

(2)中部地区 2テーマ 中部合同、精神科

(3)西部地区 5テーマ 作業を考える、C V A、福祉機器・住環境、精神科、治療演習

### 2. 県士会高額支援費事業

(1)中部地区精神科勉強会より申請あり内容は以下の通り

i 内容：講師に日本作業療法士協会副会長の山根寛氏をお招きし現在の日本の精神医療の問題点、今後の精神科作業療法のあり方、一人一人の精神科作業療法士に出来ることとは何かを御講演頂く予定

ii 期日：平成27年7月18日土曜日（予定）講義・質疑応答 14:00～17:00

意見交換会 18:00～20:00

iii会場：倉吉病院アゼリアホールを予定

### 3. 第12回鳥取県作業療法学会

(1)中部地区にて開催予定、内容は以下の通り

i 期日：平成27年11月8日（日）

ii 会場：倉吉病院 アゼリアホール

iii 主 題：未 定

iv 特別講演：福島県精神保健福祉協会

ふくしま心のケアセンター作業療法士 清山 真琴 先生

v 役 割：学 会 長	藤田 恵子	（セラトピア）
実 行 委員長	福田 亜樹子	（厳城はごろも苑）
副実行委員長	西村 純一	（清水病院）
広 報	青山 千穂	（野島病院）
会場機器	幸田 真	（倉吉病院）
学会誌・プログラム	菅谷 敦史	（ル・サンテリオン）
演 題	竹田 佳弘	（藤井政雄記念病院）
会 計	松本周三	（三朝温泉病院）
学術部	廣谷 知美	（老人保健施設やすらぎ）
	兼藤 紗絵子	（倉吉病院）

## ◎ 教育部

### 1. 生涯教育制度に関する管理

(1)ホームページ「生涯教育制度について」更新

(2)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

(3)基礎研修ポイント管理・発行

①協会よりポイントシール受領・返却

②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行

③現職者共通研修修了ポイント発行

④現職者選択研修会ポイント発行

⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行

⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行

## 2. 生涯教育制度に関する開催

### (1) 現職者共通研修会

期日と会場（予定）	区分	テ ー マ	講 師（予定）
①前期 7月26日(日) 会場：西部 YMCA米子	I	作業療法生涯教育概論	花 倉 敏 文：養和病院
		職業倫理	長 田 貴 徳：尾崎病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長 谷 川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田 住 秀 之：YMCA米子
②後期 10月25日(日) 会場：中部 倉吉体育文化会館	II	作業療法の可能性	早 川 泰 詞：山陰労災病院
		事例報告と事例研究	高 梨 悠 一：YMCA米子
	IV	日本と世界の作業療法の動向	佐 野 積 一：大山リハ病院
		実践のための作業療法研究	松 本 太 蔵：養和病院

### 3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3) SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

### 4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 生涯教育制度推進委員会への出席

### 5. 会員への情報伝達

- (1) 県士会ニュースへの掲載
- (2) ホームページへの掲載

### 6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、生活行為向上マネジメント研修会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など

## ◎ 領域別対策部

### 1. 現職者選択研修（老年期領域）

- (1) 期日：詳細は今後調整
- (2) 会場：未定
- (3) 内容：未定

### 2. 情報配信

## ◎ 財務部

### 1. 会費徴収について

- (1) 会費徴収
- (2) 未納会員への督促

### 2. ボランティア保険加入手続き

県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う。

### 3. 予算事務に関する特記事項

#### (1) 事務局

- ① 県民税納税交通費 500 円、市民税納税交通費 500 円を計上する
- ② 47 都道府県委員会日当 20,000 円（4 日分）を計上する
- ③ 災害リハビリテーションコーディネーター研修会日当 5,000 円を計上する

#### (2) 総会議事運営委員会

- ① 役務費 3,000 円計上する
- ② 需用費 3,000 円計上する

(3) 広報部

- ① 委託費として 10,000 円計上する
- ② 啓発キャンペーン費として 127,000 円計上する

(4) 事業部

- ① 鳥取県作業療法学会費は学術部へ計上する
- ② 生活行為向上マネジメント研修費は生活行為向上マネジメント委員会へ計上する
- ③ 中国地区リーダー養成研修会費として 263,600 円計上する

(5) 学術部

- ① 研修会支援費として 30,000 円を計上する
- ② 鳥取県作業療法学会費第 12 回 595,500 円、第 13 回 16,000 円計上する

(6) 生活行為向上マネジメント委員会

- ① 事務費 6,400 円、講師費 172,000 円、会場費 24,000 円、印刷製本費 30,000 円、会議費 5,000 円、役務費 260,600 円、需用費 30,000 円、負担金 30,000 円を計上する

(7) 地域包括ケア対策委員会

- ① 事務費 4,900 円、講師費 160,000 円、会場費 35,000 円、印刷製本費 15,000 円、会議費 5,000 円、役務費 127,200 円、需用費 52,900 円を計上する

(8) 認知症対策委員会

- ① 事務費 4,900 円、講師費 160,000 円、会場費 35,000 円、印刷製本費 15,000 円、会議費 5,000 円、役務費 112,000 円、需用費 35,100 円を計上する

◎ 規約委員会

1. 規約委員会の開催

(1) 業務内容

- ① 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業。
- ② 施行則・規程に関する問い合わせに対する対応。
- ③ 各専門部との連携。

2. その他

平成 29 年度役員改選に向けての役員選挙規程の策定準備

◎ 倫理委員会

- 1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
- 2. 相談への対応
- 3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書作成

- (1) 平成 27 年度事業報告書
- (2) 平成 28 年度事業計画書
- (3) その他

2. 定時社員総会の開催

- (1) 期日：平成 27 年 5 月 17 日（日）
- (2) 会場：鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム 3 （倉吉市駄経寺町 2 1 2 - 5）
- (3) 内容：平成 26 年度事業報告書承認  
平成 26 年度事決算報告書承認及び監査報告  
役員選任  
平成 27 年度事業計画及び予算
- (4) その他：議長選出  
書記任命 河本 仁美・小笹 万起子（ル・サンテリオン北条）

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 生活行為向上マネジメント委員会の開催

(1)開催予定数：全県委員会（年5回）、各地区委員会（年12回）

(2)業務内容

- ①生活行為向上マネジメント大研修会、地区研修会の企画・運営  
大研修会1回以上、地区研修会計6回開催予定
- ②生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
- ③生活行為向上マネジメント広報活動
- ④生活行為向上マネジメント熟練者養成

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

1. 窓口担当者会議

(1)全体会議2回

- ①研修会企画
- ②東・中・西部 意見交換、情報共有、課題抽出と対応実施

(2)地区別会議 東部：12回 中部：6回 西部：6回

- ①各地域の現状確認・情報共有・課題抽出と対応実施し、外部からの依頼に対し協力体制を強化
- ②各地区窓口担当者勉強会
- ③地区別窓口責任者・担当者構成メンバー

西部	全体責任者	永見 忠志	皆生温泉病院	6名
	西部責任者	小椋 善文	米子市役所	
	担当者	北坂 祥子	はまかぜ	
		横野 洋子	仁風荘	
		加藤 淳美	サンライズ名和	
		山本 香織	おしどり荘	
中部	中部責任者	福井 由香里	ル・サンテリオン	6名
	担当者	松井 香	藤井政雄記念病院	
		小南 哲	野島病院	
		松本 周三	三朝温泉病院	
		西村 純一	清水病院	
河田 修	野島病院			
東部	東部責任者	佐野 和代	いなば幸朋苑	8名
	担当者	長田 貴徳	尾崎病院	
		原田 伸吾	デイサービスつむぎ	
		田村 樹	渡辺病院	
		坂本 一郎	さとに田園クリニック	
		山本 由貴子	鳥取生協病院	
		大淵 賢一	鳥取赤十字病院	
村上 聡	まさたみの郷			
合計				20名

2. 研修1

- (1)時 期：平成27年5月17日（日）県士会定時社員総会后（90分）
- (2)場 所：倉吉未来中心
- (3)テーマ：「地域包括ケアシステムの概要とOTに期待されること」
- (4)講 師：県士会長 松本太蔵、米子市役所（OT）小椋善文氏

3. 研修2

- (1)時 期：未定
- (2)テーマ：未定

研修を通じて、地域包括ケアシステムの概要を踏まえ、OT にどのような意見発信・活動が期待されているのかなどを理解する。

OT の特性を上手く発揮できるきっかけづくりとなる研修会を企画したい。

地域包括ケアシステムにおける協力者となり得る人材育成を目標とする。

(3) 講師：未定

(4) 場所：未定

(5) 規模：50名程度

(6) 対象：県士会員・その他

## ◎ 認知症対策委員会

### 1. 認知症研修会の開催（年1回）

(1) 期 日：未定

(2) 会 場：未定

(3) 主な内容：認知症のひとを取り巻く現状と方向性

認知症初期集中支援チームの理解

(初期)認知症の人の生活支援と作業療法の役割

平成27年度予算書

				自 平成27年4月 1日
				至 平成28年3月31日
勘定科目				備 考
大科目	予算額	小科目	金額	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	2,150,000	年会費	2,150,000	5,000円 × 430名
研修会収入	976,800	第12回県学会	280,000	2,000円 × 140名
		現職者共通研修	84,000	1,000円 × 82名、500円 × 4名
		現職者選択研修	120,000	2,000円 × 40名、4,000円 × 10名
		MTDLP大研修会	240,000	2,000円 × 120名
		MTDLP地区研修会	12,800	200円 × 21名、200円 × 43名
		地域包括ケア	100,000	2,000円 × 50名
		認知症	100,000	2,000円 × 50名
		テーマ別勉強会	40,000	1,000 × 40名 中部精神科
補助金等の収入	120,000	活動費	20,000	日本作業療法士協会
		助成金	100,000	日本作業療法士協会(生活行為向上マネジメント助成事業)
		賛助費	0	
雑収入	1,000	雑収入	1,000	預金利息
事業活動収入合計(A)	3,247,800			

2. 事業活動支出						
(1) 管理運営部門						
	予算額	中項目	金額	小項目	金額	備考
事務局	534,000	事務費	69,920	事務用品費	24,920	ファイル、コピー用紙
				通信費	10,000	発送、切手代、振り込み手数料等
				封筒作成費	35,000	角2封筒1,500枚
		会場費	9,000	会場費	9,000	理事会6回 施設利用費(1,500円×6回)
				役務費	338,080	旅費
		需用費	6,000	茶菓子代	6,000	1,000円×6回
		税金	81,000	法人県民税	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)
				法人市民税	60,000	法人市民税・年間(米子市)
		負担金	20,000	年会費	20,000	都道府県作業療法士会連絡会議
		慶弔費	10,000	慶弔費	10,000	電報(祝電)等
規約委員会	11,000	事務費	1,400	事務用品費	1,000	資料ファイル4冊
				通信費	400	
		役務費	4,000	旅費	4,000	500円×4名×2回
倫理委員会	2,000	事務費	2,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
				通信費	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	15,000	事務費	2,000	事務用品費	1,000	
				通信費	1,000	
		会場費	7,000	会場費	7,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
		役務費	3,000	旅費	3,000	500円×3名×2回
需要費	3,000	茶菓子代	3,000	1,000円×3回		
(2) 事業費支出						
渉外部	26,000	事務費	1,200	事務用品費	700	資料ファイル
				通信費	500	テレホンカード
		役務費	21,800	旅費	21,800	日本作業療法士連盟総会・研修会:大阪18,800円 県教育委員会訪問2,000円(500円×1名 1,500円×1名) 鳥取県国民医療推進協議会総会500円 YMCA米子医療福祉専門学校入学式交通費 500円
広報部	471,000	事務費	89,300	研修会費	3,000	日本作業療法士連盟研修会費
				事務用品費	3,300	ニュース事務費1,500円、ホームページ事務費1,000円 など
				通信費	76,000	ニュース送料・資料取り寄せ費75,000円 ホームページ通信費1,000円
		印刷費	173,000	委託費	10,000	作業所委託
				印刷費	173,000	ニュース印刷費92,000円 リーフレット作成費81,000円(1,000枚)
		ホームページ費	64,000	管理費	53,000	
		役務費	15,700	作成費	11,000	
				旅費	15,700	広報部担当者打合せ交通費15,200円:(1,500円×2名+500円×2名+1,200円×3名)×2回、公印受渡500円
		需要費	2,000	茶菓子代	2,000	打合せお菓子代2,000円(1,000円×2回)
		啓発キャンペーン	127,000	事務費	29,000	事務費
材料費	10,000					材料費10,000円(100名分)
会場費	15,000					備品等
役務費	50,000			事前打合せ	2,700円(500円×3名+1,200円×1名)	
				会議	20,000円(1,500円×2名+500円×2名+1,200円×5名)×2回 当日スタッフ:27,300円(30名分:1,200円×9名、500円×15名、1,500円×6名)	
需用費	23,000	弁当代	21,000円(700円×30名) 茶菓子代:2,000円(1,000円×2回)			

事業部	447,000	事務費	3,800	事務用品費	2,000	
				通信費	1,800	
		訪問リハ	179,600	旅費	84,600	訪問リハ地域リーダー育成:84,600円(旅費 東京⇄米子 交通費64,600円、宿泊費10,000円、日当10,000円(5,000円×2日×1名))
				負担金	80,000	訪問リハビリテーションフォーラム:15,000円(宿泊費10,000円、日当5,000円)
		中国地区リーダー養成研修会	263,600	旅費	163,600	訪問リハビリテーション地域振興会 リーダー研修163,000円:旅費 鳥取⇄岡山、交通費38,600円(7,720円×5名)、宿泊費50,000円(10,000円×5名)、日当75,000円(5,000円×2日×5名、5,000円×1日×5名)
負担金	100,000			中国支部(士会負担金)		
学術部	804,000	事務費	2,500	事務用品費	1,000	
				通信費	1,500	
		勉強会活動費	160,000	勉強会活動費	160,000	20,000円×8テーマ
		研修会支援費	30,000	研修会支援費	30,000	高額研修への支援金(中部精神科30,000円)
		第12回県学会	595,500	講師費	137,500	特別講演 報償費 36,000円 旅費 100,000円(交通費90,000円+宿泊費10,000円) 学術集会 旅費 1,500円(500円×3)
				会場費	25,000	会場費 20,000円 会場関連費 5,000円
				印刷製本費	240,900	プログラム印刷代 60,900円 学会誌印刷製本 180,000円(送料込)
				会議費	5,000	講師打合せ会場費 5,000円
				事務費	50,000	事務費 5,000円 通信費 45,000円
				役務費	72,500	委員旅費 57,500円(500円×6名×12回、500円×2名×11回、500円×1名×10回、500円×1名×5回、500円×1名×4回、500円×2名×1回) 担当旅費 15,000円(500円×10名×2回、500円×4名×1回、1,500円×1名×2回)
				需用費	57,600	講師等用茶菓子 8,000円 講師・座長昼食 4,000円(1,000円×4名 講師1、座長3) 役員3名昼食 3,000円(1,000円×3名 会長、学会長、実長) 委員・担当昼食 19,600円(700円×28名) 委員茶菓子代 8,000円 委員前日夕食 7,000円(700円×10名) 講師当日夕食 1,000円 委員当日夕食 7,000円(700円×10名)
		予備費	7,000			
		第13回県学会	16,000	役務費	16,000	委員旅費 16,000円(500円×10名×2回、500円×3名×1回、1,500円×1名×3回)
教育部	176,000	事務費	7,500	事務用品費	2,000	事務用ファイル
				通信運搬費	5,500	振込み料、切手
		講師費	137,600	報償費	120,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導72,000円(6,000円×12名)
				旅費	17,600	現職者共通研修 10,200円(前期西部4,500円(500円×3名、3,000円×1名)後期中部5,700円(1,200円×1、1,500円×3)) 事例報告 7,400円(500円×10名、1,200円×2名)
		会場費	25,000	会場費	25,000	現職者共通研修 前期(西部)10,000円、後期(中部)15,000円
役務費	5,900	旅費	5,900	現共研 前期西部1,500円(500円×3名)、後期中部3,400円(500円×2名 1,200円×2)、現職選択研1,000円(500円×2名)		
領域対策部	206,000	事務費	2,000	事務用品費	1,000	ファイル×2
				通信費	1,000	
		現職者選択研修	204,000	講師費	99,000	報償費 県外36,000円 県内12,000円(6,000円×2名) 旅費51,000円(県外講師 宿泊費10,000円、交通費 40,000円 米子⇄東京 県内講師 1,000円(500円×2名))
				会場費	20,000	会場費
				印刷製本費	20,000	コピー用紙代、印刷トナー代
				会議費	5,000	講師打合せ会場費
				事務費	1,000	
				役務費	30,000	500円×10名×6回
需用費	24,000	講師昼食 3,000円(1,000円×3名) 委員昼食 7,000円(700円×10名) 前日夕食 7,000円(700円×10名) 講師茶菓子・飲み物 7,000円				
予備費	5,000					

財務部	298,000	事務費	34,600	事務用品費	19,100	ウイルス対策ソフト14,000円など		
				通信費	10,500			
				利用料	5,000	会計ソフト年間利用料		
		役務費	33,000	旅費	33,000	監査5,000円(3,000円×1名、500円×4名)総会費受付6,000円(1,500円×4名)現職者共通受付3,000円(1,500円×2名)県学会受付3,000円(1,500円×2名)財務部業務10,000円(500円×2名×10回)税理士相談時3,000円(500円×6回)納税3,000円(500円×6回)		
						需用費	4,500	食糧費
		相談費	64,800	相談料	64,800	茶菓子代	1,000	
						保険費	161,100	保険費
生活行為向上マネジメント委員会	558,000	事務費	6,400	事務用品費	4,400	ファイル等		
				通信費	2,000	郵送費等		
		講師費	172,000	報償費	84,000	研修会36,000円、地区研修会48,000円(8,000円×6名)		
						旅費	88,000	研修会70,000円(交通費60,000円 宿泊費10,000円)、地区研修会18,000円(3,000円×6名)
		会場費	24,000	会場費	24,000	研修会15,000円 地区研修会9,000円(1,500円×6回)		
		印刷製本費	30,000	印刷製本費	30,000			
		会議費	5,000	会議費	5,000	講師打合せ会議費		
		役務費	260,600	旅費	260,600	委員会42,000円:(1,200円×2名、500円×3名、1,500円×3名)×5回 各地区委員会144,000円:(500円×8名×12回)×3地区 研修会14,600円:(500円×10名、1,500円×4名、1,200円×3名) 地区研修会60,000円:(500円×8名、3,000円×2名)×6回		
						需用費	30,000	食糧費
		負担金	30,000	負担金	30,000	茶菓子代	5,000	講師茶菓子代1,000円、委員茶菓子代4,000円(1,000円×4回)
需用費	30,000					食糧費	25,000	講師等4,000円(1,000円×4名) スタッフ10,500円(700円×15名) 前日夕食10,500円(700円×15名)
地域包括ケア対策委員会	400,000	事務費	4,900	事務用品費	2,500	ファイル・コピー用紙等の用紙・USB・その他必要な事務用品		
				通信費	2,400	切手・送料		
		講師費	160,000	報償費	60,000	講師報償費		
						旅費	100,000	交通費90,000円 宿泊費10,000円
		会場費	35,000	会場費	35,000			
		印刷製本費	15,000	印刷製本費	15,000	プログラム・研修資料印刷代		
		会議費	5,000	会議費	5,000	講師打ち合わせ会場費		
		役務費	127,200	旅費	84,000	地区別会議 西部18,000円(500円×6名×6回) 中部18,000円(500円×6名×6回) 東部48,000円(500円×8名×12回)		
						43,200	全体会2回 1,500円×6名×2回、500円×6名×2回、1,200円×8名×2回	
		需用費	52,900	食糧費	6,000	講師等用茶菓子費 6,000円		
					1,000	講師昼食 1,000円		
					3,000	役員昼食 3,000円(1,000円×3名)		
					11,900	委員昼食 11,900円(700円×17名)		
7,000	委員夕食 7,000円(700円×10名)							
24,000	委員茶菓子代 24,000円(1,000円×24回)							
認知症対策委員会	367,000	事務費	4,900	事務用品費	2,500	ファイル、コピー用紙等の用紙、USB、その他必要な事務用品		
				通信費	2,400	切手、送料		
		講師費	160,000	報償費	60,000	講師報償費		
						旅費	100,000	交通費90,000円 宿泊費10,000円
		会場費	35,000	会場費	35,000			
		印刷製本費	15,000	印刷製本費	15,000	プログラム・研修資料印刷代		
		会議費	5,000	会議費	5,000	講師打合せ会場費		
		役務費	112,000	旅費	112,000	委員旅費 82,000円(1,500円×4名×10回、1,200円×1名×10回、500円×2名×10回)		
						担当委員 30,000円(500円×3名×2回、1,500円×3名×2回、3,000円×3名×2回)		
		需用費	35,100	食糧費	25,100	講師等用茶菓子 6,000円		
						講師昼食 1,000円		
						役員2名昼食 2,000円(1,000円×2名)		
						委員昼食 11,200円(700円×16名)		
			10,000	委員夕食4,900円(700円×7名)				
				委員茶菓子代 10,000円(1,000円×10回)				
事業活動支出計(B)	4,315,000							
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 1,067,200							

				(単位:円)
勘定科目		予算額	小科目	備考
中	目			
Ⅱ 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入		0		
投資活動収入計 (D)		0		
2.投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出		50,000		郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)		50,000		
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)		△ 50,000		
Ⅲ 予備費支出 (G)		200,000		
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)		△ 1,317,200		
前期繰越収支差額 (I)		1,976,984		
次期繰越収支差額 (J)=(H)+(I)		659,784		